

1.開講年度	2023
2.開講期	前期 月5限
3.講義コード	31933
4.授業科目	法と情報 (2023-前期-月5)
5.単位	2
6.担当教員	田中 宏和
7.配当学年：法学科	1年以上
8.配当学年：経済学科	1年以上
9.配当学年：経営学科	1年以上
10.配当学年：商学科	1年以上
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育	
16.授業形態	講義
17.授業方法	受動型
18.受講生のPC等使用	PC・タブレット（学生自身が準備）, スマートフォン
19.接続科目	地域社会, 産業界, 大学院進学

20.授業の概要

全学科に係る教養科目として、「豊かな教養」を身につけ、情報や技術に関わる法への「専門知識を修得」することを授業の目標とする。移り変わりが激しい様々な「社会事象を的確に捉える」力を身につけ、考える力を養う授業ともなる。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

- (1) ICTの進展に伴う社会の情報化の実態を踏まえ、法や制度を理解し、望ましい情報政策のあり方について考えることができること。
- (2) 制定された法を理解し、社会における問題の発見とその解決方法を法に従って考えることができること。
- (3) 情報社会において、他者の権利を侵害せずに情報を活用することができること。

22.授業計画

この講義は、対面時でも「WebClass」を通じて、資料配布や小テストを含むミニッツ・ペーパーやレポート回収などを行う。オンライン対応時には配布資料を読み、資料内容を調べ、レポートを作成して提出すること。但し、受講者人数によってはZoomを用いた授業を実施することも検討する。

第1回 情報と法 ?情報法のイメージ?

事前学習：情報と法の関連性について想像をしておく

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第2回 憲法と情報法

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第3回 情報倫理

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめてお

く。

第4回 放送制度

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第5回 通信制度

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第6回 情報公開

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第7回 個人情報保護

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第8回 データベースとコンテンツ

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第9回 電子商取引（1）

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第10回 電子商取引（2）

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第11回 著作権法（1）

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第12回 著作権法（2）

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第13回 著作権法（3）

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第14回 著作権法（4）

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第15回 インターネットと刑法

事前学習：事前の配布レジюмеや参考書を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。

事後学修：授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。

第16回 最終試験

23. 予習・復習

予習 2 時間（授業用の配布資料や関連書籍を読む等、授業に関係する内容をあらかじめ予習した上で、授業中の教員からの質問を予測し、それらに答えられるようにしておく。）

復習 2 時間（授業で聞いた内容などを理解した上で、試験やレポート作成に備えて、自分なりに学習内容をノートにまとめておく。）

24.注意事項

(1)最終試験(論述式)の成績で評価する(60%)ほか、WebClassを通じた小テスト(20%)や授業中の質問への応答ならびに授業に対する質問など、授業への積極的な態度・意欲も評価対象とする(20%)。なお、新型コロナ対応等の影響で遠隔授業になった場合は成績評価の方法について改めて説明する。

(2)資料の配布・閲覧等についてはWebClassを用いて行う(印刷はしません)ので、授業中にいつでも見られるようにパソコンもしくはスマートフォン、タブレット端末を持参すること。

(3)定期試験の採点終了後に試験等への講評を行う。

(4)出席はWebClassを用いて取るので、パソコンもしくはスマートフォン、タブレット端末を持参すること。なお出席そのものを点数化しないが、出席率は最終試験を受験可否を判断するための条件となる。

(5)授業出席への不正行為ならびに不正行為に類する行為が発覚した場合には、最終試験の受験条件等に対する不正行為と見做し、小テストや最終試験の成績にかかわらず本授業の単位を認定しない。なお、当該不正行為に協力した者についても同様とする。

(6)授業中の不必要な私語は厳に慎むこと。

25.教材

毎回の授業毎にWebClassを通じて該当箇所の講義資料(レジュメ)を事前に配布する。教員側で印刷は行わないので、各自で資料閲覧用のパソコンもしくはスマートフォン、タブレット端末を持参すること。

26.教科書

27.参考書

28.授業関連科目

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	20%
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	10%
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	20%
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	20%
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	18%
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	5%
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	1%
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	1%
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5%

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験	第16回目に定期試験として論述試験を実施する。場合によっては第10回授業で中間試験としての論述試験を実施する可能性もある。	60%
小テスト	WebClassを通じた小テストを授業各回後に実施する。	20%
レポート		
成果発表		
受講態度	授業中に実施する質問への応答などを見て対応する。	20%
その他		